ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2023　応募の手引き

2023.10.2 版

一般財団法人　日本地域開発センター

1. 応募方法の概要

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2023 の応募にあたり、必要な手続きおよび提出資料を以下の(1)(2)に示します。

(1)応募費用の振込と振込金受領書(写し)の FAX 送付

応募費用は 1 件 6 万円(消費税含む。住宅シリーズ・地域区分・仕様あたり)となります。所定の金額を以下のいずれかの口座にお振込み下さい。

三菱UFJ銀行　虎ノ門支店 普通口座　2045720 名称:ザイ)ニホンチイキカイハツセンター	郵便振替 口座番号　00190-5-48953 加入者名:一般財団法人日本地域開発センター

お振込み後、各金融機関発行の振込金受領証(振込受付書、ATM 利用明細など)の写しを FAX で以下の事務局に送付して下さい。本資料の末尾に台紙のサンプルがありますのでご利用下さい。

事務局:一般財団法人日本地域開発センター
FAX:03－3501－6855
TEL:03－3501－6856

お振り込みに関する確認・お問い合わせ等も上記の事務局にお願いいたします。

（２）提出資料一覧

下表の①～⑨の資料を指定のファイル形式で作成し、全体を一つのフォルダにまとめ、ZIP 形式に圧縮したものを電子メールまたはファイル転送サービスで下記の事務局メールアドレスに送付して下さい。各資料の詳細は p.7 以降をご覧下さい。

送付先メールアドレス：info@house-of-the-year.com

資料番号	資料名	配布ファイル名	主なシート構成・記入内容等	提出ファイルの形式・数量・ファイル名その他注意事項
①	基本情報と応募シリーズ概要	2023_01_gaiyou.xlsx（記入して提出）	・基本情報シート ・シリーズ1～3概要シート	・Excelファイル×1（応募企業ごとに1つ） ・ファイル名の先頭を 2023_01
②	視点1-1 外皮仕様	2023_02_gaihi.xlsx（記入して提出）	・記入要領シート ・U値シート ・UA値等シート	・Excelファイル×シリーズ数 ・ソフト等からの出力も可とします（条件あり） ・ファイル名の先頭を 2023_02
③	視点1-2 一次エネルギー消費性能計算結果	なし **【計算プログラムから出力したPDFを提出】**	・一次エネルギー計算結果	・PDFファイル×応募件数 ・ファイル名の先頭を 2023_03、シリーズ名・地域区分がわかるファイル名
④	視点２ 省エネ設計手法 ・設備、健康・快適性への取り組み	2023_04_shouene.docx（記入して提出。他書式での提出も可）	・通風利用設計手法 ・日射熱・蓄熱利用手法 ・省エネ設備 ・健康・快適性への取り組み	・PDFファイル×1（応募企業ごとに1つ ※） ・書式は自由（14ページ以内） ・ファイル名の先頭を 2023_04
⑤	視点3-1 情報発信	なし	ウェブサイト・SNS・パンフレット・雑誌等、各種媒体による情報発信内容	・PDFファイル×1（応募企業ごとに1つ ※） ・書式は自由（4ページ以内） ・ファイル名の先頭を 2023_05
⑥	視点3-2 仕様の標準化	なし	標準断熱仕様・標準設備等が明示された資料など	・PDFファイル×1（応募企業ごとに1つ ※） ・書式は自由（4ページ以内） ・ファイル名の先頭を 2023_06
⑦	実物件 確認済証の写し	なし	今年度竣工物件の確認済証の写し（1シリーズにつき3棟分）	・PDFファイル×シリーズ数 ・各検査機関の書式 ・ファイル名の先頭を 2023_07、シリーズ名がわかるファイル名
⑧	実物件図面	なし	今年度竣工物件の、 ・各階平面図、立面図 ・矩計図 ・**UA値計算書・一次エネルギー計算結果（任意）**	・PDFファイル×シリーズ数 ・⑦を提出した物件のうちいずれかの図面 ・ファイル名の先頭を 2023_08、シリーズ名がわかるファイル名
⑨	実物件等写真	2023_09_sample1.pdf, 2023_09_sample2.pdf（サンプルファイル）	今年度竣工物件の内観・外観写真、および任意の物件の施工中の写真	・PDFファイル×シリーズ数 ・⑧で図面を提出した物件を含めて下さい ・レイアウトは自由、6ページ以内 ・ファイル名の先頭を 2023_09、シリーズ名がわかるファイル名

※いずれの資料も、施主等の個人情報が判別できないように処理して下さい。

※資料④⑤⑥は、ウェブサイトのURLの記載、または同一手法・仕様を採用する代表企業のみの提出とすることができます。

資料の提出は、⑧の「UA 値計算書/一次エネルギー計算結果」を除き「必須」です。資料④⑤⑥などに特段記載すべき内容が無い場合には、資料内にその旨を記入して提出して下さい(その場合は 1 ページのみで可)。

圧縮後の全体ファイルサイズがおおむね 3MB 以上となる場合は、メール添付でなくファイル転送サービスをご利用下さい。また、圧縮前の個別のファイルが 10MB(資料⑨は 20MB)を超えないように、画像の解像度等を調整して下さい。なお、審査の過程でこれ以外の資料を追加で提出していただく可能性があります(p.16)。

2. 応募方法の詳細

(1)評価対象

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2023 の評価対象となるのは、次のとおりです。

①新築・戸建の「住宅シリーズ」
②2022(令和 4)年 10 月 1 日から 2023(令和 5)年 9 月 30 日までの 1 年間に、
3 棟以上の新築竣工実績を有すること
モデルハウスは売却予定の有無によらず竣工実績とはみなしません。
なお、「竣工」の定義は検査済証の発行または建築主への引き渡しを指すものとします。

[留意事項]

・「住宅シリーズ」とは、同一の商品名や、類似したデザイン・仕様等で括られる複数の住宅を指します。
・過去に応募された住宅シリーズ(各賞を受賞されたシリーズを含む)でも再度応募することができます。ただし、過去に「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック 『大賞』」および「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 『大賞』」を受賞した住宅シリーズについては、省エネルギー性や普及度に特段の向上が見られない場合には再度『大賞』を受賞することはできません。
・本制度は、住宅シリーズを「標準的な仕様(※)」での省エネ性能等を評価・表彰するものです。特定の(一棟の)住宅を評価するものではありませんのでご注意下さい。住宅シリーズにおいて、お客様が設備の種類・仕様(特に断熱仕様、給湯・暖冷房設備の熱源・機種等、太陽光発電の容量等)を任意で選択可能なものについては、「標準的な仕様」を特定したうえでご応募下さい。

※ 「標準的」とは、「当該住宅シリーズのパンフレット・標準仕様書等に記載されている」「供給戸数が最も多い」あるいは「商品コンセプトに最も合致する」などを想定しています。

(2)応募受付期間

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2023 の応募受付期間は次のとおりです。

2023 年 10 月 15 日(日)～2023 年 10 月 31 日(火) (必着)

この期間内に、応募費用の振込、および応募資料①～⑨の提出を完了して下さい。

（３）評価の視点

次の 3 つの視点から応募資料を審査します。

◆視点1：外皮・設備の省エネルギー性能値

「住宅の省エネルギー基準（平成 28 年省エネルギー基準）」のエネルギー消費性能計算プログラムを使用し、住宅の躯体・開口部・設備機器の性能を数値化して評価します。

※断熱性能や搭載設備は応募シリーズの標準仕様とし、共通のモデル住宅に適用した場合を想定してエネルギー性能を評価します。建物形状、プラン・断面など設計の工夫は視点 2 で評価します。

◆視点 2：多様な省エネルギー手法の導入、および健康・快適性その他の取り組み

視点 1 での定量的な評価が難しい省エネルギー技術や設計手法、健康・快適性その他への取り組みを総合的に評価します。

◆視点 3：省エネルギー住宅の普及への取り組み

高性能住宅の供給戸数や情報発信等、普及への各種取り組みや、記載された仕様・設備等がどれだけ標準化され、一般ユーザーに明示されているかなどを総合的に評価します。

（４）応募単位（応募件数）

応募件数は以下に従って定めて下さい。

①複数の住宅シリーズ名で応募する場合、シリーズ名ごとに 1 件とします。

②複数の省エネ地域区分で応募する場合、地域区分ごとに 1 件とします。

③断熱仕様・設備仕様の組合せが異なる場合、組合せごとに 1 件とします。

以下に件数の例を記します。

例 1：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Aシリーズ					応募	応募		
Bシリーズ						応募	応募	

この場合、応募件数は「4」となります。

例 2：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Cシリーズ	高断熱仕様で応募							
				通常断熱仕様で応募				

この場合、応募件数は「8」となります。

なお、応募する省エネ地域区分の選定方法については次の（5）をご確認下さい。

（５）応募する地域区分

2022 年 10 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日までの 1 年間に竣工実績を有する地域区分に応募して下さい。

以下、本資料内で「今年度」と記載した場合には上記の期間を指すものとします。「事業年度」と記載した場合は、各企業の事業年度としての 2022 年度を指すものとします。

地域区分は、住宅の省エネルギー基準による地域区分（1～8 地域）に従います。どの地域区分に何棟を竣工したか、確認のうえ応募して下さい。期間内に竣工実績のない地域区分には応募できません。

都道府県・市町村と地域区分の対応は、地域区分新旧表
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/shoenehou_assets/img/library/chiikikubun-sinkyuu.pdf
などの資料を参照して下さい（「改正後」の地域区分を採用して下さい）。

応募する住宅シリーズが複数の地域区分で竣工実績を持つ場合は、次により応募する地域区分を決定して下さい。

① 応募する住宅シリーズの竣工棟数が多い上位 2 つの地域区分には必ず応募して下さい。それ以外の地域区分での応募は任意です。

② ただし、事業年度の 2022 年度における新築戸建住宅の総竣工棟数が 50 棟以下の企業(※)は、住宅シリーズの竣工棟数が最も多い地域区分 1 つのみの応募でかまいません。

※ 企業グループで応募する場合は、企業グループ全体で 50 棟以下の場合とします。

以下に地域区分選定の例を示します。

例 1：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数（2022年10月1日～2023年9月30日）	0	0	0	20	20	50	30	0	120
応募する企業の総竣工棟数（2022年度（事業年度））	（地域ごとの内訳は問いません）								160
応募（◎：必須、○：可能（任意）、×：不可）	×	×	×	○	○	◎	◎	×	

この場合、事業年度 2022 年度の総竣工棟数（=160）が 50 棟を超えているため、応募シリーズの竣工棟数の上位 2 区分（6 地域および 7 地域）には必ず応募して下さい。それ以外で期間内に竣工実績のある 4・5 地域にも応募することができます（任意）。今年度に当該シリーズの竣工実績のない 1～3 および 8 地域には応募できません。

例 2：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数（2022年10月1日～2023年9月30日）	0	0	0	0	3	10	1	0	14
応募する企業の総竣工棟数（2022年度（事業年度））	（地域ごとの内訳は問いません）								25
応募（◎：必須、○：可能（任意）、×：不可）	×	×	×	×	○	◎	○	×	

この場合、事業年度 2022 年度の総竣工棟数(=25)が 50 棟以下のため、応募シリーズの竣工棟数上位 1 区分（6 地域）のみの応募でかまいません。期間内に竣工実績のある 5・7 地域にも応募することができます（任意）。シリーズ全体で 3 棟以上の実績があれば、この例の 7 地域のように、1 棟しか竣工していない地域にも応募できます。

（６）評価・表彰単位

① 評価および表彰は、住宅シリーズごとに行います。複数地域で応募された場合、「視点 1」の数値は各地域区分の竣工棟数に応じて加重平均した値で評価します。

② 同一の住宅シリーズであっても地域ごとに断熱仕様・設備仕様（特に給湯熱源）等の差異が大きい場合は、別のシリーズとして評価する場合があります。この場合、事前に事務局から応募者にご連絡します。

例 1：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Aシリーズ				応募	応募	応募		
Bシリーズ						応募	応募	

この場合、「A シリーズ」の視点 1 は 4～6 地域を加重平均したもので評価し、「B シリーズ」の視点 1 は 6・7 地域を加重平均した値で評価します。

例 2：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Cシリーズ	高断熱仕様 &ガス給湯機							
			高断熱 ＆電気HP給湯機					
					通常断熱 ＆電気HP給湯機			

同一のシリーズ名であっても、断熱仕様および給湯熱源が異なるため 1・2 地域と 3・4 地域および 5～7 地域は別々の評価となる場合があります（一部が入賞し、一部が選外などという結果がありえます）。これらをまとめて評価するか別々に評価するかは、断熱仕様や一次エネルギー計算結果等の差異の程度によります。

応募件数、地域区分、表彰単位等についてご不明な点がある場合は、事務局に電子メールでお問い合わせ下さい。

info@house-of-the-year.com

（７）提出資料詳細

提出資料に関して、前年度との主な変更点等を以下に示します。

資料①③⑤⑥⑦⑨
大きな変更はありません。

資料②（UA 値等）
基礎・土間関係の入力内容を変更しました。

資料④⑤⑥
前年度と同様、
・ウェブサイト等で情報を公開している場合に、当該サイトの URL を記入することで PDF の提出に代えることができます。
・共通の手法・仕様などを用いる複数の企業がそれぞれ応募する場合、代表応募企業が資料を提出し、他の応募者企業は資料の提出を省略することができます。
例：企業 A がシリーズ名 X、企業 B がシリーズ名 Y、企業 C がシリーズ名 Z で応募する場合で、A・B・C が共通の設計手法・構法・設備を導入している場合や、共同して情報発信を行っているなどの場合に、当該内容に関する資料（④⑤⑥に限る）については、A が代表して提出することができます。

資料④（省エネ設計手法等）
採用する手法の区分に「アップフロントカーボン評価のための取り組み」を追加しました。関連して、資料のページ数の規定を変更しました。

資料⑧（図面等）
当該住宅の UA 値計算書、および一次エネルギー消費性能計算結果を提出書類に追加しました（任意提出）。各種認定等取得の際に作成・提出した計算書等がある場合に提出して下さい。

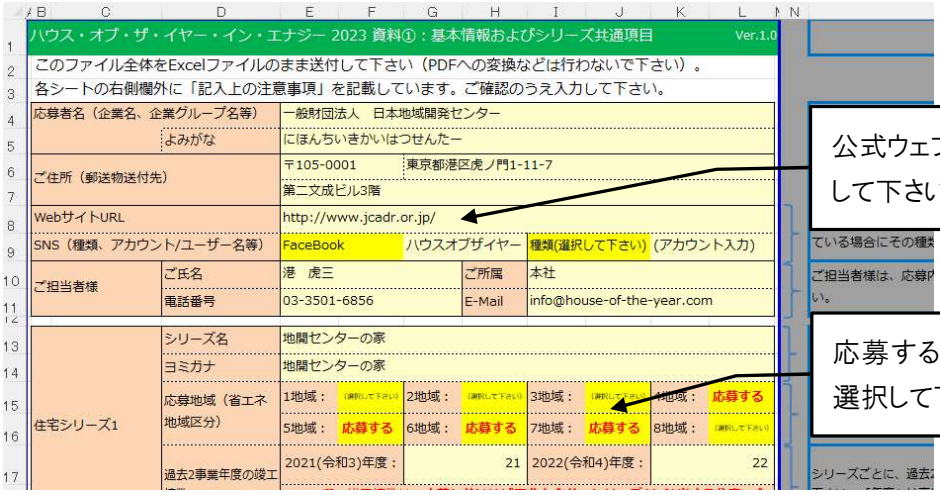
次ページ以降に、提出資料の詳細を記します。

① 基本情報と応募シリーズ概要　（配布時のファイル名：2023_01_gaiyou.xlsx）

「基本情報シート」と、「シリーズ概要シート」で構成されています。それぞれ、シート右側欄外の「記入上の注意事項」をご確認のうえ入力して下さい。

◆基本情報シート

応募者情報（応募企業名、URL、質疑等対応のご担当者名、応募するシリーズ名と応募する地域等）を入力して下さい。

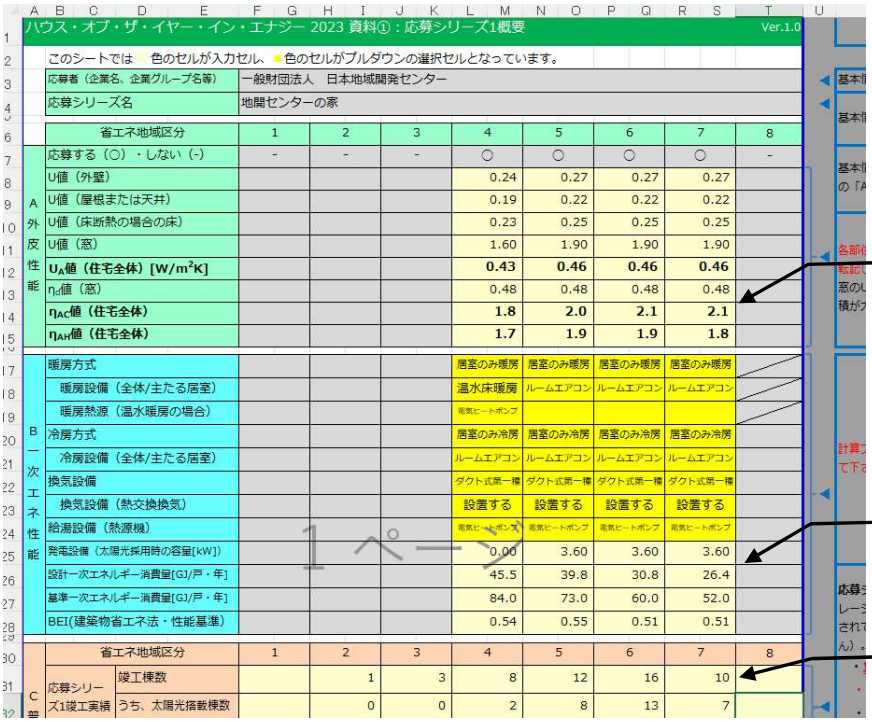


公式ウェブサイト等がある場合、URL を入力して下さい

応募する地域のプルダウンで「応募する」を選択して下さい（複数選択可）

◆シリーズ概要シート（シリーズ 1～3 用）　※4 つ以上のシリーズで応募される場合は事務局にご連絡下さい。

応募する住宅シリーズごとに、外皮断熱仕様と一次エネルギー計算結果の概要、竣工棟数、各種認定取得件数等を入力するシートです。外皮断熱仕様は資料②から、一次エネルギー計算結果は資料③から、このシートに転記して下さい。



資料②から U 値・U_A 値などを転記して下さい

資料③から一次エネルギー消費量・BEI などを転記して下さい

応募する地域以外を含む、竣工棟数などを入力して下さい

資料①のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募企業ごとに 1 ファイルを作成・提出して下さい。
・Excel ファイルのまま提出して下さい。
・ファイル名は 2023_01 で始まるものとして下さい。配布ファイル名「2023_01_gaiyou.xlsx」のままでもかまいません。

住宅シリーズは 3 つまで入力できるようになっています。4 つ以上のシリーズで応募される場合は事務局にご連絡下さい。

②　視点 1-1　外皮断熱仕様　　（配布時のファイル名：2023_02_gaihi.xlsx）

この Excel ファイルは以下の 4 種類のシートで構成されています。U 値シートおよび UA 値等シートに断熱仕様等を入力して下さい。

◆記入要領シート

このファイルの記入要領を記載しています。必ず内容を確認してから入力を開始して下さい。

◆U 値シート

応募する住宅シリーズの標準的な断熱仕様に基づき、外壁・天井など主な断熱部位の U 値（熱貫流率）を算出して下さい。算出した U 値は、UA 値等シートの該当する欄、および資料①の該当する欄に転記して下さい。

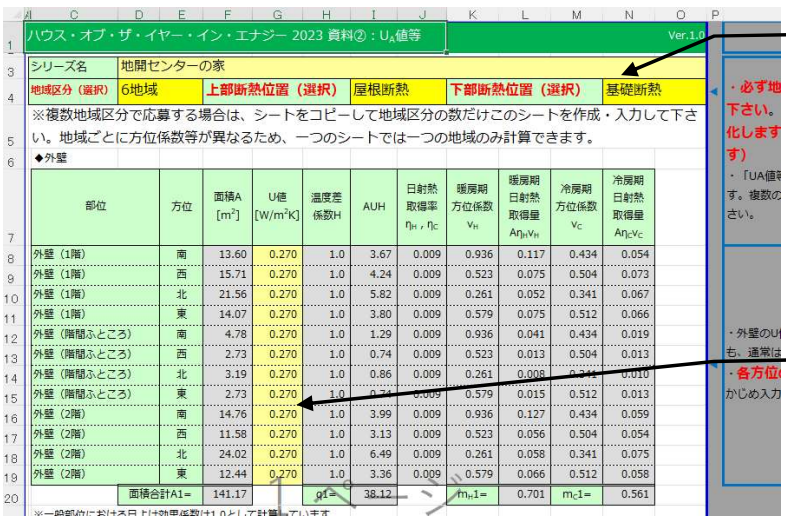
地域区分ごとに断熱厚が異なるなど、複数の断熱仕様で応募する場合は、必要な分だけこのシートをコピーして下さい。

◆UA 値等シート

U 値シートで算出した U 値を転記し、標準的な開口部仕様（U 値・η 値）を入力して、モデル住宅における U_A 値（外皮平均熱貫流率）などを算出して下さい。実際に建設した住宅における U_A 値等を計算するものではありません。外皮面積は、モデル住宅の値があらかじめ入力されています）。

算出した U_A 値等は、資料③の作成時に「エネルギー消費性能計算プログラム」に入力するほか、資料①の該当する欄にも転記して下さい。

複数の地域区分で応募する場合は、必要な分だけシートをコピーして下さい。同一の断熱仕様であっても、このシートは地域区分の数だけ必要です。



最初に地域区分および上部・下部断熱位置を選択して下さい

U 値を「U 値シート」から転記して下さい

◆付録シート
材料や開口部の熱的性能値などの参考資料を記載しています。

「U 値シート」、「UA 値等シート」への入力内容等の詳細を、各シート右側の印刷範囲外に記載しています。適宜確認しながら入力を行って下さい。

資料②のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募シリーズごとに 1 ファイルを作成・提出して下さい。
・Excel 形式のまま提出して下さい。
ただし、他のソフト等によりU値およびU_A値等を算出した結果を提出してもかまいません。その場合の入力設定および提出方法の詳細は、「記入要領」シートの「■他のソフト等による計算結果の提出」の記載に従って下さい。
・ファイル名は 2023_02 で始まるものとして下さい。配布ファイル名 2023_02_gaihi.xlsx のままでもかまいません。複数シリーズでの応募の場合、2023_02 以降でシリーズ名を判別できるファイル名として下さい。

③ 視点 1-2 エネルギー消費性能計算結果

以下の URL(「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)」)にアクセスし、一次エネルギー計算を行って下さい。先に資料②を用いて UA 値等を算出しておく必要があります。

https://house.lowenergy.jp/

2023 年 10 月 2 日現在の計算プログラムのバージョンは 3.5.0 となっています。

これ以降のバージョンで計算した結果を提出して下さい。

資料③のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募シリーズ 1 件ごとに、上記プログラムから PDF ファイルを 1 つ出力し提出して下さい。複数の地域区分で応募する場合、地域区分ごとに PDF ファイルが 1 つ必要です。
・ファイル名は 2023_03 で始まるものとして下さい。複数シリーズ・複数地域区分での応募の場合、2023_03 以降でシリーズ名および地域区分を判別できるファイル名として下さい。

入力方法・出力方法の詳細は、配布している「2023_03_ichiji.PDF」をご覧下さい。

④　視点 2　省エネ設計手法・設備および健康・快適性向上手法の採用　（配布時のファイル名：2023_04_shouene.docx）

通風利用や日射熱・蓄熱利用などのいわゆるパッシブ設計手法や、「エネルギー消費性能計算プログラム」で評価することができない各種の省エネ設備、健康や快適性の向上のための取り組み等で、応募するシリーズあるいは企業として標準的に採用しているものを記入して下さい。特定の物件にのみ、特別に採用した設備・手法等は評価対象外です。

また、一般的な断熱材、窓、換気設備、暖冷房設備など、その効果が「エネルギー消費性能計算プログラム」に反映・評価されているものはここに記入する必要はありません。記入されていても評価対象とはなりません。

内容は以下の 1)～7)の要素に区分し、採用している要素のみについて具体的な内容（設計手法、導入実例等。写真や図面を含んでよい）を区分ごとに A4 用紙 4 ページ以内（資料全体では 14 ページ以内）に収まるように記入して下さい。

1）通風（自然風）利用のための設計手法・設備導入等
2）日射熱・蓄熱利用のための設計手法・設備導入等
3）日射遮蔽のための設計手法・設備導入等
4）蓄電・HEMS ほか、計算プログラムで評価できない省エネ設備の導入
5）アップフロントカーボン評価のための取り組み
6）健康・快適性向上のための設計手法・設備導入等
7）その他省エネ・健康・快適性向上のための取り組み

Microsoft Word®形式のファイルを配布しますが、必ずしもこのファイルを使用する必要はなく、上記の内容・ページ数等の規定に沿っていれば自由書式で作成してかまいません。

資料④のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募企業ごとに 1 ファイルを作成・提出して下さい。
・PDF ファイルで提出して下さい。ページ数は上に記載のとおりです（A4, 各区分 4 ページ以内、全体 14 ページ以内）。
・ファイル名は 2023_04 で始まるものとして下さい。
・ファイルサイズは 10MB 以内として下さい。超過する場合は、貼り付ける画像の数・解像度などを調整して下さい。

また、以下のいずれかの方法により、PDF ファイルの作成・提出に代えることができます。

1）上記のような設計手法等を採用していることがわかるウェブサイトの URL を記載する
2）共通の手法等を用いる複数の企業等がそれぞれ応募する場合に、代表となる企業等のみが資料を提出する

上記方式を採用する場合、URL または代表応募者名を、資料①の「基本情報」シート 40 行目に記載して下さい。

	資料種別	提出方法	（ウェブサイト指定の場合）当該サイトURL （複数の応募企業のうち、代表企業が提出する場合）代表企業名
視点2・3資料の提出方法	視点2 （資料2023_04）	ウェブサイト指定	http://www.jcadr.or.jp/HOYE/
	視点3-1 （資料2023_05）	PDFファイルを提出	
	視点3-2 （資料2023_06）	代表企業が提出	地開ハウジング

応募件数（編集しないで下さい）	住宅シリーズ1	住宅シリーズ2	住宅シリーズ3	合計
	4	0	0	4

※1 URL 記載または代表企業の提出を選択した場合、それに追加する形で PDF ファイルを提出することはできません。

※2 代表者となる応募者は、規定に沿った内容の PDF ファイルを提出するか、ウェブサイト URL を記載する方式で応募して下さい。また、代表者はその資料を利用する他の応募者を把握しておいて下さい。

⑤ 視点 3-1　情報発信

企業として、施主や見込み客などの一般住宅ユーザー向けに公開している省エネルギー・快適性関係の情報発信の内容を提出して下さい。例えば以下のような内容が考えられますが、これ以外の内容でも問題ありません。

・断熱や日射遮蔽の効果（快適性の向上、光熱費の削減など）
・高性能設備の効果（快適性の向上、光熱費の削減など）
・設備の効率的な使い方、メンテナンス方法の説明
・省ネルギー関連セミナーの実施

提出資料の書式は自由としますが、A4 用紙 4 ページ以内におさまるように画像・文章等をレイアウトして下さい。

資料⑤のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募企業ごとに 1 ファイルを作成・提出して下さい。
・PDF ファイルで提出して下さい。ページ数は上に記載のとおりです（A4, 4 ページ以内）。
・ファイル名は 2023_05　で始まるものとして下さい。
・ファイルサイズは 10MB 以内として下さい。超過する場合は、貼り付ける画像の数・解像度などを調整して下さい。

資料④と同様、以下のいずれかの方法により、PDF ファイルの作成・提出に代えることができます。

1）上記の内容をウェブサイトで公開している場合にその URL を記載する
2）共通の手法等を用いる複数の企業等がそれぞれ応募する場合に、代表となる企業等のみが資料を提出する

上記方式を採用する場合、URL または代表応募者名を、資料①の「基本情報」シート 41 行目に記載して下さい。

⑥ 視点 3-2 仕様の標準化

資料②に入力した外皮断熱仕様や、資料③に入力した各種設備などが、住宅シリーズあるいは企業としての標準仕様であることが確認できる資料、あるいはそれらが明示されたユーザー向けの資料などがあれば該当部分を抽出して提出して下さい。例えば以下のような内容が考えられますが、これ以外の内容でも問題ありません。

・共通仕様書・標準仕様書

・パンフレット・Web サイトのうち仕様・設備等に関する部分

提出資料の書式は自由としますが、A4 用紙 4 ページ以内におさまるように画像・文章等をレイアウトして下さい。

断熱材や各種設備等のメーカーカタログ・パンフレット類は、標準仕様かどうかの確認資料とはなりませんので提出する必要はありません。

資料⑥のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募企業ごとに 1 ファイルを作成・提出して下さい。
・PDF ファイルで提出して下さい。ページ数は上に記載のとおりです（A4, 4 ページ以内）。
・ファイル名は 2023_06 で始まるものとして下さい。
・ファイルサイズは 10MB 以内として下さい。超過する場合は、貼り付ける画像の数・解像度などを調整して下さい。

資料④⑤と同様、以下のいずれかの方法により、PDF ファイルの作成・提出に代えることができます。

1）上記の内容をウェブサイトで公開している場合にその URL を記載する
2）共通の構法・仕様等を用いる複数の企業等が応募する場合に、代表となる企業等のみが資料を提出する

上記方式を採用する場合、URL または代表応募者名を、資料①の「基本情報」シート 42 行目に記載して下さい。

⑦ 実物件確認済証の写し

住宅シリーズごとに、今年度に竣工した実物件の確認済証の写しを 3 棟分提出して下さい。複数の地域区分で応募する場合、物件はどの地域区分から選定してもかまいません。

次の資料⑧（図面等）を提出する物件は、ここで選定した 3 棟のいずれか 1 棟として下さい。

資料⑦のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募シリーズ 1 件ごとに、3 件の確認済証をまとめた 1 ファイルを提出して下さい。
・PDF ファイルで提出して下さい。
・ファイル名は 2023_07 で始まるものとして下さい。複数シリーズで応募の場合、2023_07 以降でシリーズ名を判別できる名称として下さい。

資料に確認申請書を含む必要はありません。また、確認済証に代えて「工事届出済証明書」の写しでもかまいません。

建築主や確認検査員個人の氏名や建築場所の詳細等、個人情報がある場合は黒塗りとするなどで判別できないようにして下さい。逆に、「発行した検査機関」「発行年月日」および「建築場所のうち都道府県名」は判別できる状態として下さい。

なお、「今年度」の指す期間(2022.10.1～2023.9.30)に対し、確認済証の発行年月日はこれより6ヶ月程度さかのぼった時期となるものを想定しており、これを大幅に逸脱するものについては竣工日に関する追加資料（検査済証の写しなど）の提出をお願いする場合があります。

⑧ 実物件図面

住宅シリーズごとに、今年度に竣工した物件の中で、シリーズとして典型的なデザイン・仕様・規模の実住宅１棟を選定し、その図面と写真を提出して下さい（写真は次の資料⑨として提出して下さい）。

ここで選定する物件は、資料⑦（確認済証）を提出する３棟の中のいずれか一つとして下さい。

資料には少なくとも以下を含めて下さい。

1）各階平面図

2）立面図

3）矩計図（資料②の計算に用いた断熱仕様の主要部分が確認できるもの。資料②の記入内容と著しく異なる場合は、断熱性能等の評価を下げる場合があります）

これ以外に、視点２（資料④）などの内容を設計に反映させたことを示す図面・資料を含めてもかまいません。

さらに、上記で選定した物件について、各種認定等の取得の際などに作成した資料がある場合は、

4）外皮性能（UA 値等）計算書、一次エネルギー消費性能計算結果

を提出して下さい（この資料のみ、任意提出です）。

資料⑦のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

・応募シリーズ１件ごとに、1)～3)の図面等をまとめた１ファイルを提出して下さい。
・4)の資料は、1)～3)のファイルとまとめても、別ファイルとしてもかまいません。
・PDF ファイルで提出して下さい。CAD データでの提出はできません。
・ファイル名は 2023_08 で始まるものとして下さい。複数シリーズで応募の場合、2023_08 以降でシリーズ名を判別できる名称として下さい。

⑨ 実物件等写真

シリーズごとに、以下の 1) 2)で構成した資料を提出して下さい。

1) 原則として資料⑧(図面等)を提出した物件を含む、今年度に竣工した物件の内観・外観写真

・図面提出物件の写真撮影が難しい場合は、資料⑦(確認済証提出物件)の 3 棟のいずれかでもよいものとします。
・資料⑦⑧に含まれない物件を含め、複数の物件の写真を載せてもかまいません。ただし、今年度に竣工した物件に限ります。
・一次エネルギー計算で「太陽光発電」および「コージェネレーション」を設置するとした場合は、それぞれの設備を搭載した物件を選び、当該設備が写っている外観写真を含めて下さい。
・内観写真は、主要な居室等の内観のほか、視点 1 で計算に反映させた開口部・設備等や、視点 2 に記載した省エネ・快適性のための設計手法が確認できるものを載せて下さい。

2) 任意の物件(資料⑧の物件でもよい)の各種施工中の写真

・主要な部位の断熱・気密工事や、視点 1・2 で採用した要素を中心とした暖冷房・換気・給湯等の設備工事、気密測定時の写真などを載せて下さい。
・写真を用意できる任意の物件の写真でかまいませんが、できるだけ今年度に竣工した物件、または 2023 年 10 月の時点で施工中の物件の写真として下さい。

写真のレイアウトや枚数等、書式は自由としますが、A4 用紙 6 ページ以内として下さい。また、各写真には必ずキャプションを付けて下さい。さらに簡単な説明を付記してもかまいません。 配布資料にサンプルファイル(2023_09_sample1.pdf および 2023_09_sample2.pdf)を添付しますので、レイアウト等の参考にして下さい。

このほか、資料⑨のフォーマット等の規定は以下のとおりです。

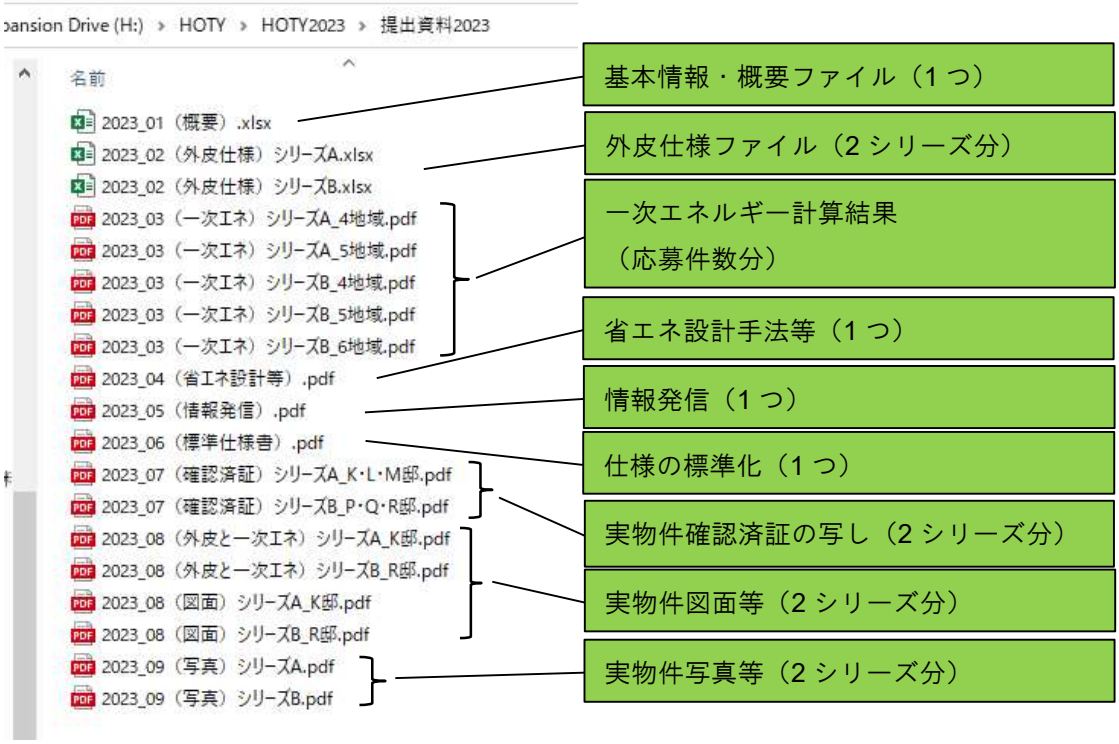
・シリーズごとに 1 ファイルを作成・提出して下さい。
・PDF ファイルで提出してください。ページ数は上に記載のとおりです(A4, 6 ページ以内)。
・用紙は縦・横どちらの向きとしてもかまいませんが、ファイル内で向きが混在しないようにして下さい。
・ファイルサイズは 20MB 以下として下さい。超過する場合は、貼り付ける画像の数・解像度などを調整して下さい。
・ファイル名は 2023_09 で始まるものして下さい。複数シリーズで応募の場合、2023_09 以降でシリーズ名を判別できる名称として下さい。
・写真に個人情報が写り込まないようにご注意下さい。個人情報部分を黒塗り等で隠してもかまいません。

資料⑨の再提出について:
応募期間内に十分な写真が用意できなかった場合には資料⑨の再提出(差し替え)を認めます。

・再提出は 1 回限りとし、提出期限は 2023 年 12 月 8 日(金)とします。
・再提出の際は、上記の規定に沿う資料 2023_09 の PDF ファイルそのものを送付して下さい。一部のページのみの差し替えや、画像ファイルのみの再提出はできません。

上記の①～⑨の資料を一つのフォルダに配置し（子フォルダを設けて分散させないで下さい）、フォルダ全体を zip 形式で圧縮したものを提出してください。

以下に、提出するファイル構成の例を示します（シリーズ「A」「B」の 2 シリーズ、合計 5 地域区分での応募の場合）。



（８）その他の資料、資料の再提出

審査の過程で以下のような書類（写し）を追加で提出していただく可能性があります。

1）断熱材、各種設備等の仕様（性能）が記載されたカタログ・仕様書等
2）メーカー・小売店等が発行した断熱材、各種設備等の納品書
3）（省エネルギー関連認定等の取得ありの場合）各認定書、および一次エネルギー計算結果などの提出資料
4）その他、資料①～⑨の記載内容を確認・補完するための資料

また、提出された資料の修正・再提出を事務局から依頼する場合がありますが、その際は以下の点にご注意下さい。

・原則として、指定した資料全体を再提出して下さい（修正した部分・ページだけの再提出を依頼した場合は除きます）。
・修正後の資料も、ファイル名・ページ数・ファイルサイズ等の規定に沿ったものとして下さい。
・公平性の観点から、指定した部分以外の修正は認められない場合があります。

（９）応募資料送付先・お問い合わせ先等

◆振込金受領書の FAX 送付先、振込関連および応募資格関連のお問い合わせ

事務局：一般財団法人日本地域開発センター
〒105-0001　東京都港区虎ノ門 1-11-7　第二文成ビル
FAX：03－3501－6855　　TEL：03－3501－6856

◆応募資料の電子メール送付先、および応募資料作成等全般に関するお問い合わせ先

事務局メールアドレス：info@house-of-the-year.com

ハウス･オブ･ザ･イヤー･イン･エナジー 2023 振込金受領書 FAX 送付用台紙

宛先 一般財団法人　日本地域開発センター ハウス･オブ･ザ･イヤー･イン･エナジー 2023　事務局行	
送信日	
FAX 番号	03-3501-6855
電話番号	03-3501-6856

発信元(応募者)
電話番号
FAX 番号

送信枚数(本状含め):合計　　枚

振込金受領書の写しを貼付して下さい
(収まらない場合は 2 ページ目への貼付でもかまいません)